

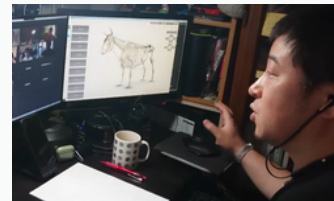
# 情報・データ科学教育センター

山口大学はSociety5.0に向けた人材を育成するため、全国の大学に先駆け、2018年度より共通教育必修のデータサイエンス科目を導入し、社会の進展に貢献できるデータサイエンスリテラシーを備えた人材の育成を行っています。

## データサイエンス教育プログラム

### リテラシーレベル教育プログラム

2018年度から全ての入学生を対象に1年次の必修科目として「データ科学と社会Ⅰ」と「データ科学と社会Ⅱ」を開講しています。本プログラムは2021年8月4日付けで文部科学省より「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）」に認定されました。



学外講師による遠隔授業



### 応用基礎レベル教育プログラム

2年次以降の専門課程では、それぞれの専攻における課題を数理・データサイエンス・AIを活用して解決するための実践的な能力を育成する教育プログラムの導入を進めています。2022年に工学部、2023年に理学部と医学部、2024年に農学部、2025年に共同獣医学部と経済学部が実施している教育プログラムが、それぞれ文部科学省より「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（応用基礎レベル）」に認定されました。



データサイエンス技術の授業風景



## 社会連携

山口県の支援のもと、2020年より社会人向けのリカレント教育として「データサイエンス講座」を開講し、地域における学び直しの機会を提供しています。これまでに70名を超える社会人の方が講座を修了されており、企業等において広く活躍されています。2026年度は、現代のビジネスに不可欠なDX（デジタルトランスフォーメーション）推進を担う人材を育成するため、「DXを目指す社会人のためのAI・データサイエンス教育プログラム」を実施しています。本プログラムは、データサイエンス、統計学、機械学習、DXの4分野を体系的に学ぶ設計となっており、単なる知識の習得にとどまらず、マーケティング強化や生産性向上等の成果に結びつく「ビジネスに活かす実践的なスキル」の習得を目指します。講座は完全オンラインで、ライブ配信のほかオンデマンドによる講義録画の視聴も可能であるため、多忙な社会人の方でも安心して継続することができます。受講者同士や講師との交流を通じて、業種や世代を超えた新たなネットワーク形成にもつながっており、地域企業におけるDX推進や課題解決を支える実践力を備えた人材の育成に貢献しています。

## 教育研究連携

本学では、AI技術の研究を専門とする教員と、他分野でデータを扱う教員との共同研究を促進し、その有用性を広めることで、データサイエンス分野の発展を目指しています。2019年度からは、AI技術を活用した共同研究を積極的に推進してきました。さらに、2023年度からは「AI技術×〇〇」研究デザインプロジェクトを開始し、AI技術を多分野にわたって活用する取り組みを強化しています。加えて、ダイバーシティ推進室と連携し、多様な研究チームがAI技術を活用できる環境を整備し、研究力強化を図っています。

## 情報・データ科学系合同卒業論文発表会

2017年度より、理学部・工学部・農学部・教育学部の情報系学科・コースから選抜された学生による、合同卒業論文発表会を開催しています。データサイエンスの内容を含め、学部の枠を超えて横断的に交流し、刺激し合うことで教育効果を高めることを目的としています。

